様式２

施　策　カ　ル　テ

1　施策の位置付け

担当課	生涯学習課

総合計画政策の柱	市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名（基本施策名）	生涯にわたる学習活動を促進する	取組の基本方向	「生涯にわたる学習活動を促進する」ため，地域での学習活動を通してまちづくりなどに貢献するための「社会をつくる人づくりの推進」，地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域の教育力の向上」，市民の主体的な生涯学習活動を促進するための「生涯学習活動への支援充実」に，重点的に取り組みます。	政策目標（基本施策目標）	子どもから大人まで，市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに，意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。

2　施策の現状と達成状況，課題の抽出

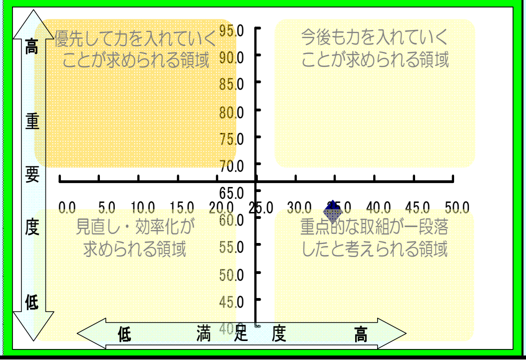
①施策名	生涯学習活動への支援充実	
②施策目標	一人ひとりが，自分にあった学びの機会や場を得て，生き生きと学んでいます。	
③施策を取巻く環境	国・県等の動向	これまで学習環境の機会や場の充実に努めてきたが，さらに市民の主体的な学習活動を促進する取組が必要であるとともに，学んだ人がその成果を発揮し，活躍する機会や場の創出が求められている。また，生涯学習活動をする市民の図書館に対するニーズは高度化・多様化しており，ソフト・ハード両面での充実が求められている。
	外部意見その他	地域の指導者として活躍できる人材の確保や，急激な社会変化に対応するための市民の学習機会の確保が重要な教育課題であり，地域教育の着実な推進のために早急に体制整備に取り組む必要性について，市議会から一般質問等により指摘を受けている。

④施策の達成状況

施策指標（単位）			H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	達成率(%)
			―――――	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	―――――	
指標①（総合計画に基づく指標）	生涯学習コーディネーターの人数	目標値	―――――	60	90	100	100	100	57.0%
		実績値	24	45	57			―――――	
指標②	地域教育メッセ出展団体数	目標値	―――――	30	40	40	50	50	70.0%
		実績値	―――――	37	35			―――――	
指標③		目標値	―――――						
		実績値						―――――	
指標④（特記事項）									――――

⑤市民意識調査結果

市民の施策満足度	34.7%	市民の施策重要度	61.1%



⑥施策の評価

項目								説明
達成度（単年度目標）		達成している（90%以上）	●	概ね達成（70%～90%未満）		達成していない（70%未満）	説明	生涯学習コーディネーターは，目標値の６３%にとどまっているものの，地域教育メッセの出展団体数は，目標値の７０%となっており，概ね目標を達成している。活躍・活動の機会や場の創出が強く求められている中で，地域教育メッセは人材の交流の場や，人と人，団体同士がつながる場として活用されている。
必要性・緊急性（住民・社会ニーズ）	●	増加している		横ばい		減少している	説明	個人の学びの多様化のなかでは，生涯学習支援へのニーズは相変わらず高く，一人ひとりがいきいきと学べ，学んだ成果を十分に発揮し，活躍できるよう，学んだ人材を地域につなぐ仕組みの検討が強く求められている。
適切性（適切な事務事業の選択，実施）		十分である	●	不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある	説明	特に人財かがやき支援事業は人と人，団体同士のつなぎの場としての効果が高く，活躍・活動の場が増えてきているが，さらに効果的に事業を推進していくため，各事業の個人的な学びはもとより，その成果を他につないでいくような視点での見直しが必要である。
有効性（政策目標への効果）		十分である	●	やや不十分である		不十分である	説明	市民の満足度は高く，施策目標達成に効果を上げているが，さらに有効性を高めるために，政策立案機能や統括機能の強化や，学んだことを地域での活躍・活動につなげていく仕組みづくりが求められている。

⑦現状分析と課題の抽出（③～⑥を踏まえた分析）

成果が見られる点	施策指標の目標値には満たないものの，生涯学習コーディネーターは着実に育っているほか，地域教育メッセの開催等，人と人，団体同士がつながる機会や場の創出により，人と人，団体同士への広まりが見られるようになった。また，図書館の事業についても，館内資料の収集提供，館外奉仕課貸出や図書館情報提供システムでは目標値を上回っており，施策目標への貢献度は高い。
改善の必要な点	地域教育メッセの開催により，主体的な学習活動を行う人と人，団体同士をつなぐ人材交流の機会の充実や，学習成果を生かす機会や場の創出を図るとともに，学んだ人が学んだことを地域での活躍・活動に生かしていけるような学習プログラムの開発や，地域教育をさらに推進していくため，１８生涯学習センターはもとより，地域コミセンなどとのこれまで以上の連携の仕組みづくりが必要である。

3　今後の取組方針

⑧取組の考え方		
	総論	人材かがやきセンターを拠点とし，地域のリーダーづくりをはじめとする人材育成事業の体系化や，学習プログラムの開発・実施を進める。また，市民の多様化する学習ニーズに対応し，学習活動を支援するため，生涯学習センター・図書館等での事業をさらに充実していくとともに，地域人材バンクの整備など，学んだ人が地域で活躍できるような機会や場の提供とあわせ，学んだことを地域での活躍・活動につなげていく仕組みづくりの構築や生涯学習コーディネーターの育成を進めていく。また，（仮称）第３図書館については，引き続き，社会教育・生涯学習の拠点としてふさわしい施設・機能整備を行っていく。
	重点事業	人材育成事業の体系化や学習プログラムの開発・実施，地域人材バンクの整備など，学んだ人を地域につなぐ仕組みづくりの検討を行うとともに，これまで市街地，上河内，河内に限られていた生涯学習コーディネーターの活躍の場を１８生涯学習センターに広げていく。さらに市街地では地域教育推進のため，地域コミセンとの連携の仕組みを構築していきながら市民の主体的な学習活動を推進していく。
	見直し事業	子どもの本連絡会活動補助金については，初期の目標が達成されたことから，平成２１年度をもって廃止する。また，生涯学習センター文化祭負担金については，合同文化祭分は平成２１年度をもって廃止する。

⑨政策評価会議意見

・今後さらに市民の多様化する学習ニーズに対応し，学習活動支援のため生涯学習センター・図書館等での事業をさらに充実させるとともに，学んだ人が地域で活躍できるような機会や場の提供とあわせ，学んだことを地域での活動につなげていく仕組みづくりの構築を行うこと。
・人材育成事業の体系化や学習プログラムの開発・実施，地域人材バンクの整備とともに，地域コミセンや地域まちづくり組織など，地域との連携の仕組みを構築していきながら市民の主体的な学習活動を推進していくこと。
・子どもの本連絡会活動補助金については初期の目標が達成されたことから廃止とし，生涯学習センター文化祭負担金のうち合同文化祭分については，各生涯学習センターで同様の文化祭があることから平成２１年度をもって廃止すること。

4　施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名		対象者	開始年度	活動指標等	H20 目標値／実績値	H21 目標値／実績値	H20 事業費（千円）	H21 事業費（千円）	重点度（A～C）	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
1	（仮称）第3図書館建設推進費		市内に居住または，通勤，通学する人及び県央6市5町に居住する人	H17	実施設計・建設工事	100	30	244,415	620,507	A	**継続**	施設の持つ各種機能を，より効果的・効率的に発揮できるよう，指定管理者制度の導入を図り，官民連携の下で，本市の「人づくり」に資する社会教育・生涯学習の拠点としてふさわしい施設整備を行うこと。
	担当課	生涯学習課				100	16.6					
2	市図書館と学校図書館のネットワーク事業		児童生徒及び教職員	H18	学校希望図書を利用する学校の割合	94.0	95.0	13,080	13,426	A	**継続**	「みや図書館サービスプラン」の重点施策として，（仮称）第３図書館開館後はネットワークの拠点を第３図書館に移行し，児童生徒の読書活動・学習活動を支援することにより，児童生徒の読解力の向上に貢献していくこと。今後は更なるネットワークの充実についても検討すること。
	担当課	生涯学習課				93.5	96.8					

様式２

3	図書館館内資料の収集提供		市内に居住または，通勤，通学する人及び県央６市５町に居住する人	S56	蔵書数	1,221,700	1,026,500	199,396	135,263	B	**継続**	市民の要求・利用とともに年々増加しており，施策目標への貢献度も高い。今後は，増加するレファレンス件数に対応するため，電子情報など新たな媒体も含め計画的な資料情報の収集と関係研修会への参加促進や専門知識の習得など職員の資質の向上に努めること。
	担当課	生涯学習課				1,266,418	1,254,688					
4	図書館読書推進事業		市民及び図書館利用者	S56	実施回数	696	650	2,570	1,753	B	**継続**	生涯学習の情報拠点として，市民の図書館に対するニーズは年々多様化しており，施策目標への貢献度も高い。今後は，多様化・高度化する利用者の要求に対応できるように，様々な利用対象を想定した講座や研修会の充実を図り，更なるサービスの向上に努めること。
	担当課	生涯学習課				592	642					
5	図書館障がい者サービス		市内に居住または通勤通学している障がい者。特に活字の変換サービスが不可欠な視覚障がい者。	S57	障がい者への貸出数	2,300	2,350	3,441	2,454	B	**継続**	点訳・音訳奉仕員の養成については，関連機関と連携し，効率的に行うこと。利用者のニーズと点訳・音訳技術の革新に対応し，デジタル化など新技術の普及を図る必要があること。
	担当課	生涯学習課				2,270	2,946					
6	親子読書促進事業（宮っ子ふれあいブック）		原則として，宇都宮市に居住する１歳６か月児健康診査対象者及びその保護者	H15	実施率	100	100	3,185	2,975	B	**継続**	絵本を通した親子のふれあいと読書のきっかけづくりの両面で効果が期待できることから，会場での読み聞かせや啓発パンプレットの配布を充実し，継続していくべき事業である。
	担当課	生涯学習課				99.5	99.5					
7	生涯学習センター整備事業費		生涯学習センター	H20	整備箇所	3	3	16,205	16,506	B	**継続**	一人ひとりが，自分にあった学びの機会や場を得るための生涯学習センターを，安全の確保や施設の長寿命化を行いながら，生涯学習の場の提供を行うこととあわせて，今後の生涯学習センターのあり方を検討していく必要があること。
	担当課	生涯学習課				3	3					
8	視聴覚ライブラリー運営事業		学校教育・社会教育団体及び市民	S56	講座,教材制作支援,映画会,機器操作指導回数	700	700	17,819	15,925	B	**継続**	利用者ニーズの多様化，高度化を踏まえ，今後も視聴覚機材及び教材の適正管理に努め,現行の事業を継続していくこと。また，視聴覚ライブラリーの今後あり方を整理し，既存事業の見直しや改善，新規事業の導入に努めていくこと。
	担当課	生涯学習課				794	672					
9	図書館情報提供システムの整備		図書館利用者及び職員等	H15	検索数	270,000	407,000	103,281	48,978	C	**継続**	自宅や職場，学校などから必要な図書館情報を必要な時に提供できる図書館情報システムを構築した。更に情報の収集提供に努め，地域の情報拠点としての図書館の地位の確立を目指すこと。
	担当課	生涯学習課				405,592	476,131					
10	市立図書館館外奉仕課貸出		全市民	S56	（館外）貸出人数	125,000	130,000	27,521	26,813	C	**継続**	生涯学習センター図書室等の図書については，インターネット予約や物流を活用し，利用者への迅速かつ有効な資料提供に努めること。ニーズに沿った団体貸出用図書の充実に努め，地域の団体の利用を促進すること。
	担当課	生涯学習課				127,803	142,255					
11	図書館整備事業		図書館利用者	H13	緊急性のある施設改善率	100	100	53,081	23,377	C	**継続**	図書館機能・サービス向上計画に基づく，計画的な改修等を実施すること。適切な時期の修繕工事により，建物の延命化に努めること。
	担当課	生涯学習課				100	100					
12	生涯学習センター文化祭負担金		市街地（上河内・河内含む）生涯学習センター利用団体が開催する文化祭	S42	延べ利用者参加数	12,000	12,100	10,281	2,663	C	**縮小**	市民の学習活動の成果を発表する場として生涯学習活動の促進に必要な事業であり，一般観覧者を増やすことだけではなく，参加者も増やす方法について検討する必要があること。合同文化祭については各生涯学習センターでも同様の文化祭があるため平成２１年度をもって廃止すること。
	担当課	生涯学習課				13,065	5,921					
13	子どもの本連絡会活動補助金		宇都宮子どもの本連絡会	S60	構成団体者数	35	36	135	135	C	**廃止**	子どもの読書活動を支える地域の人材育成がますます重要であることから，これまで，子どもの読書に関して指導的立場にある当該団体を支援してきたところであるが，現在は，自立した団体の運営を行っており，当該事業の初期の目的は達成されたものと考えられることから廃止すること。
	担当課	生涯学習課				35	37					
再掲	生涯学習ボランティア養成事業		生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	H13	コーディネーター養成講座修了者数	40	40	—	—	—	**継続**	地域教育プランの基本理念にあるように，今後の生涯学習は地域を支える「人づくり」を推進していくことであり，生涯学習ボランティアの養成事業は重点事業のひとつである。社会的ニーズも高く今後とも継続していく必要があること。また養成講座修了者の支援を積極的に行っていくこと。
	担当課	生涯学習課				13	12					
再掲	人財かがやき支援事業		生涯学習にかかわる市民	H20	メッセ出展団体数	30	40	—	—	—	**継続**	人材の相互交流や成果発表の機会として貴重な場であり，市民の学習機会の創出に貢献している。今後は，地域人材育成の視点を取り入れ，より参加しやすい事業実施や出展団体や来場者を増加させる方策等を検討し，活発な交流が図れるよう事業の充実を目指していくこと。
	担当課	生涯学習課				37	35					
再掲	生涯学習情報提供事業		全市民	H3	登録件数（講座，イベント，施設，団体，講師）	6,500	5,000	—	—	—	**継続**	市民の自主的な学習活動を促進するために効果的な事業であり，施策目標への貢献度は高い。より市民に利用されるシステムとするために，今後も様々な機会でマナビスの周知活動を行うことにより認知度を高めるなど，事業の定着を図っていくこと。
	担当課	生涯学習課				4,578	4,119					
再掲	市民大学運営協議会交付金		市内在住，在勤の１８歳以上の人	H5	講座実施回数	136	136	—	—	—	**継続**	市民大学が開かれた地域教育の展開場所とするため，ボランティアとの連携をより一層図るとともに，市民の学習ニーズを的確に捉え，地域教育の視点も取り入れながら，育った人材の活躍の場としていくなど，より内容の充実したものを実施していくこと。
	担当課	生涯学習課				135	112					
施　策　事　業　費　合　計								694,410	910,775			